

令和4年度 専門研修課程Ⅰファシリテーター養成研修 報告書

実施日：令和5年3月21日（火）13：00～16：30

集合参加：zoom 参加者 18名 生涯学習委員会 5名

研修内容：

- 13：00～13：05 開会あいさつ 山口理事長
- 13：05～13：15 ファシリテーター養成研修の経緯：位頭薫副理事長
- 13：15～14：15 アセスメント 講義：荻田靖子氏
- 14：20～15：10 課題整理総括表 講義：奥村滋子氏
- 15：20～16：20 ケアプラン・演習・振り返り 大森匡美氏、四宮明子氏
- 16：30 閉会あいさつ 中副理事長

◎前回の実務研修ファシリテーター養成講座の振り返りをしながら、専門研修課程Ⅰ受講生（介護支援専門員として就業半年から3年以内）の視点のアセスメント、課題整理総括表、ケアプランを例にして事前課題をもとに演習を実施

◎演習は個人ワーク、グループワークを実施

ブレイクアウトルームに分かれて協議 足りないアセスメント情報、課題整理総括表の書き方、ケアプランについて、受講生に気づいてもらえるような声のかけ方について言語化してみた

考察：ファシリテーターを養成する研修が昨年度実施され、螺旋的に学び続けるシステム作りが必要とのことで、今年度は実務研修、専門研修課程Ⅰと2段階で研修を実施した。この度は、専門研修課程Ⅰの目標である、『専門的知識・技術を修得し、多様な疾病や生活状況に応じて医療との連携や多職種協働を図り、ケアマネジメントを実践できること』を達成するファシリテーターができるように、具体的に事例を使ってアセスメントがどこまでできているか、多職種連携を図るために必要な情報収集ができているか、集めた情報を整理、分析し、ケアプランに落とし込めているかを確認し、受講生に理解してもらえるようにどのように伝えたらいいのかを一連の流れで研修を実施した。ファシリテーターとして経験がある方の参加が多く、確認して伝える部分に対しては活発な意見交換ができていた。どのように伝えたらいいのかの演習になると言語化することが難しいとの意見があった。ファシリテーター養成研修であったが、事業所内、通常の業務で活かすことができるような研修であったと考えられる。言語化はどのケアマネジャーにも大きな課題であると感じた。今後の業務にも活かすことができるように普段から言語化できるようにしていきたい。



